

検診内容

令和6年度乗務員脳ドック検診受診

40歳を超えると、加齢や今までの生活習慣の影響によって様々な病気のリスクが上がります。

脳卒中(脳梗塞、くも膜下出血、脳出血)などの脳の病気もそのひとつです。
脳卒中は動脈硬化が要因になりますが、動脈硬化そのものは自覚症状がなく、
自分で脳卒中のリスクに気づくことは難しいといえるでしょう。
そこで、脳ドックで脳の異常がないか調べるのが大切です。

わが社では全乗務員に対して脳ドック検査を実施し
より安全・安心な企業を目指し取り組んでおります。



令和6年度乗務員無呼吸症候群(SAS)検診受診

無呼吸症候群により、睡眠不足の状態が続くと…

パフォーマンスの低下だけでなく、生活習慣病である肥満症、脂質異常症や糖尿病、
動脈硬化性の高血圧症、狭心症、心筋梗塞などの心血管疾患、脳卒中などの脳血管疾患、
精神疾患であればうつ病、その他、認知症やがんに至るまでさまざまな病気の発症リスクを
高めると言われています。

注意喚起アイコン

統計上、日中の慢性的な眠気から、居眠り運転は睡眠時無呼吸の方は
そうでない方の約5倍とも言われています。

昼間のパフォーマンスの低下が生命の危機に影響を与えます。

わが社では全乗務員に対して無呼吸症候群(SAS)検査を実施し
より安全・安心な企業を目指し取り組んでおります。

